

カタクチイワシシラスと水温との関係

福島県水産試験場 海洋漁業部

1 部門名

水産業－海洋生産－水温・塩分量、シラス

2 担当者

池川正人

3 要旨

船びき網漁業の主要対象魚種であるシラス(カタクチイワシ仔魚)の漁場形成要因を解明する一環として、水温とシラス出現状況との関係について検討した。

シラスの主漁獲期は8～11月である。

- (1) 漁業調査指導船「拓水」により、2013年5～11月に、本県沿岸域において、中層トロール網による表層10分間の曳網調査を実施し、シラスの採捕数と水温との関連について検討した。
- (2) 期間合計で5,902尾を採捕した。平均全長は16.1mmであり漁獲サイズ(約20～30mm)よりは小さかった。水温は8.9～25.6℃であった。
- (3) 表層水温14℃未満での採捕は皆無であった。16℃以上で採捕されたが、水温と採捕数との明確な関係はみられなかった。
- (4) これらのことから、漁獲サイズより小さいシラスは約15℃未満では加入しないことが示され、水温15℃が漁期の開始時期の指標となる可能性が示された。

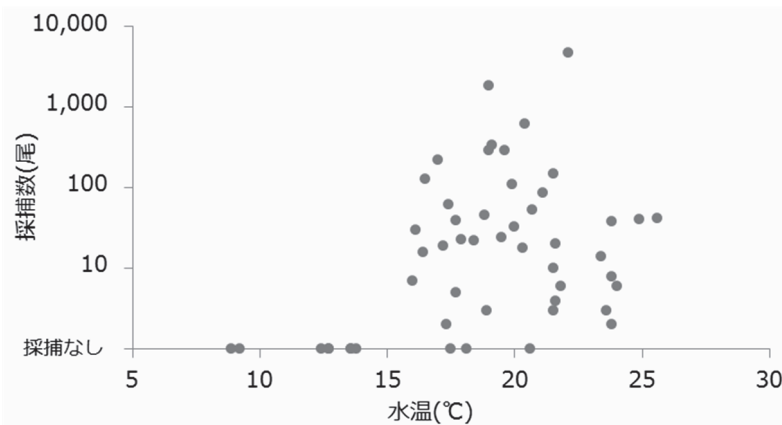


図 水温とシラス採捕数

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～27年度
- (2) 研究課題名 沿岸性浮魚の漁況予測技術の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (発展見込)

5 主な参考文献・資料

なし